

石川県保険医協会主催

緊急講演会

シリーズ 第2回

原発

いのち

みらい

過去の原子力被災から 福島原発事故を考える —土壤調査からみる放射能汚染—

講師 山本 政儀 氏 金沢大学環日本海域環境研究センター・
低レベル放射能実験施設 教授

※プロフィールは裏面参照

5月15日、NHKで放送されたETV特集『ネットワークでつくる放射能汚染地図～福島原発事故から2か月～』をご覧になられたでしょうか。放射能汚染地図を作成する過程を追いかながら、何も知らされずホットスポットに住み続ける住民、生活の糧を手放さざるをえず涙する農家の人々等、その混乱と苦悩を見つめたドキュメンタリー。

番組の最後には、福島第一原発正門から1キロ地点の住宅地から土壤サンプルが採取されました。このサンプルを解析されたのが、今回の講師、山本政儀教授です（ETV特集続報・6/5放送）。

「原発・いのち・みらい」シリーズ2回目の今回は、土壤調査による放射線解析の第一人者である山本先生に、旧ソ連セミパラチンスク核実験場をはじめとした国内外での土壤調査・放射線影響研究とともに、過去の原子力被災と福島原発事故についてご講演いただきます。ぜひ、ご参加ください。



山本政儀氏 (ETV特集「続報 放射能汚染地図」6/5放送より)

とき 2011年 7月 28日 (木) 午後7時～8時45分

ところ 石川県女性センター 4階コンベンション室 (金沢市三社町1-44)

対象 関心のある方ならどなたでも (定員50人)
※ お早めにお申し込みください

参加費 無料

<事前申込み必要>
電話、Email、裏面のFAX参加申込書のうち、
いずれかの方法でお申し込みください

石川県保険医協会
<http://ishikawahokeni.jp/>
金沢市尾張町2-8-23
太陽生命金沢ビル8階
電話: 076 (222) 5373
FAX: 076 (231) 5156
E-mail: ishikawa-hok@doc-net.or.jp

シリーズ企画 第2回

原発 いのち みらい

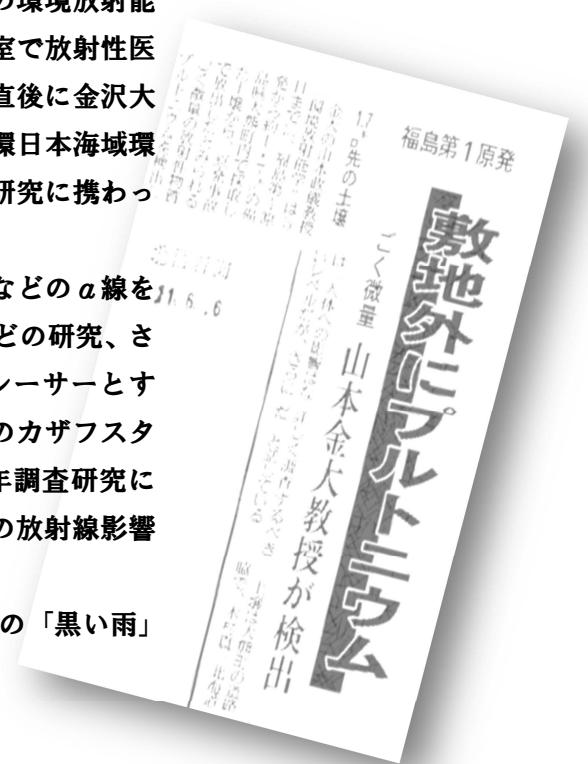
7月28日(木)午後7時から
石川県女性センター 4階コンベンション室

>>> 山本政儀氏のプロフィール

1973年に金沢大学理学部・化学科（阪上正信先生の放射化学講座）を卒業、5年間福井県衛生研究所（放射能課）で原子力発電所周辺の環境放射能の調査・研究に従事。その後、北陸大学薬学部の放射薬品學教室で放射性医薬品と環境放射能の研究をし、1986年のチェルノブイリ事故直後に金沢大学理学部附属低レベル放射能実験施設に移り、現在、金沢大学環日本海域環境研究センター・低レベル放射能実験施設の教授として教育・研究に携わっている。

この間、放射性核種・放射線と共に歩み、特にプルトニウムなどの α 線を放出する放射性核種の分析・測定法の開発、環境中での挙動などの研究、さらに天然の放射性核種にも着目してこれらの放射性核種をトレーサーとする環境・地球化学的研究、また一方で1992年から中央アジアのカザフスタンにある旧ソ連セミパラチンスク核実験場及びその周辺に毎年調査研究にかけ、放射能汚染や住民の低線量率-長期被曝のリスク評価の放射線影響研究を続けている。

カザフスタン政府から特別功労賞を受賞。最近は広島・長崎の「黒い雨」に絡む研究も進めている。



FAX

参加申込書

FAX 076-231-5156 (保険医協会宛て)

※ 切り取らずにこのまま送信してください

医療機関・団体名

申込者名

TEL

-

-

参加人数

人